

事業番号	09 04 06	事業改善シート(令和3年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進


1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】
	<ul style="list-style-type: none"> 本県の畜産は、従事者の高齢化が進み、農家数、家畜飼養頭羽数とも減少傾向となっている。一方で補助事業等を活用して規模拡大に取り組む農家も増えつつある。 経営面では、生産物価格は堅調に推移しているものの、家畜導入費の高騰・飼料価格の高止まり等が収益に影響を及ぼしていることから、経営規模の拡大による効率化や自給飼料生産を推進し、生産性を向上させ収益性を高める必要がある。
	【目指す姿】
	<ul style="list-style-type: none"> 畜産特別資金等への利子補給、肉用子牛の価格変動に的確に対応したセーフティーネットの運用により安定した畜産経営を実現する。 畜舎等の施設設備への支援、自給飼料増産の推進により、畜産経営の収益性を向上させる。 ICT機器やDNA評価等の新技術の活用により生産性の向上を図るとともに、家畜の改良や生産技術の向上により、品質の高い畜産物の生産基盤を強化する。
	【実施内容】
	<ul style="list-style-type: none"> 生産性を向上させるスマート畜産の普及 新技術(ゲノミック評価、体外受精卵移植技術)の活用による収益力の向上と、信州プレミアム牛肉など高品質な牛づくりの推進 畜産試験場から県オリジナル地鶏のヒナの供給 農場における衛生管理状況の確認及び 食中毒原因菌の衛生検査を実施

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	乳用牛1頭当たり生産乳量	kg	8,956	8,834	↓	8,921	↑	9,030	未達成
2	信州プレミアム牛肉の認定頭数	頭	3,818	4,336	↑	3,937	↓	3,800	達成
3	畜産農家(乳用牛)1戸当たり飼養頭数	頭	49.2	51.4	↑	52.4	↑	52.5	未達成
4	畜産農家(肉用牛)1戸当たり飼養頭数	頭	51.4	54.9	↑	57.9	↑	55.5	達成
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度	
事業コスト	前年度繰越額	258,411	291,375	90,131
	当初予算額	383,878	161,476	46,809
	補正予算額	68,277	-23,218	228,632
	合計(A)	710,566	429,633	365,572
	うち一般財源	27,175	16,748	14,044
決算額(B)	406,677	315,626	129,018	
職員数(人)	14.19	14.19	13.67	

成果指標及び目標値の設定理由	<ol style="list-style-type: none"> 1.乳用牛の乳量実績と産乳能力の向上を把握するための指標 ※目標値:生産計画値等に基づき設定 2.信州プレミアム牛肉の生産農場の拡大状況及び認定率の増加傾向を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値に基づき設定 3.畜産農家の戸数・飼養頭数等の現状を把握するための指標 ※目標値:長野県酪農・肉用牛生産近代化計画値に基づき設定 4.畜産農家の戸数・飼養頭数等の現状を把握するための指標 ※目標値:長野県酪農・肉用牛生産近代化計画値に基づき設定
達成状況の分析	<ol style="list-style-type: none"> 1.県では大規模経営体の生産性向上を支援する等により経産牛頭数が増加(前年比+100頭)し、生乳生産量も増加したものの、世界的なCOVID-19蔓延等の影響から業務用生乳消費量は減少傾向となり、生産調整が行われた結果、未達成となった。 2.肉用牛のゲノミック評価による個体選抜効果が発揮されるとともに、県外での信州プレミアム牛肉の認定市場が拡大し、和牛生産者の認定意欲が向上した。しかし、東京オリバラを見越して出荷頭数が増加した令和2年度の実績を下回る結果となった。 3.畜産クラスター事業等の活用により、規模拡大に取り組む経営体が増加したが、目標に0.2%とわずかに届かず未達成となった。 4.畜産クラスター事業等の活用により、規模拡大に取り組む経営体が増加した。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信州プレミアム牛肉の銘柄向上 <ul style="list-style-type: none"> 第4回信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都(11月15日) ・昨年度に続き、東京食肉市場へ生体の県産和牛合計438頭を出荷(毎月3回上場) ✓ 先端技術の導入による生産性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート畜産の推進 ICT機器を貸し付ける「お試し農場」を4ヶ所設置し、効果を実証 ・高品質な牛づくりの推進 酪農・肉用牛の生産基盤の強化に向けて、県内の優良遺伝資源を積極的に活用 	 <p>第4回信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都 知事ビデオメッセージ</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大や従事者の不足に対応するため、家畜の飼養管理の労働時間の削減が必要。 ・地域の関係者が連携し、地域ぐるみで畜産の収益性の向上やコスト削減等を進める必要がある。 ・消費者が安全・安心を共感できる、持続可能な生産・流通体制づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AIやIoT等を活用した「スマート畜産技術」を推進し、労働生産性の向上を図る。 ・畜産クラスターの形成を促進するとともに、中心的な経営体の施設整備等の取組を支援。 ・農場等におけるHACCPの導入やバイオセキュリティ対策の徹底を図るとともに、信州プレミアム牛肉をはじめとした県産畜産物のブランド力を向上させる。

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	畜産特別資金利子補給事業	831 千円	879 千円	731 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	利子補給事業	補助金	13経営体が借入れている畜産特別資金について、資金の貸付けをしている6つの融資機関に対して利子補給を行い、借入者の償還負担軽減を図った。	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	自給飼料生産基盤活力創出事業	1,492 千円	838 千円	965 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	推進事業	直接	自給飼料共励会(牧草の部)を8月に開催し、26品の出品があり、自給飼料生産の生産・貯蔵・給与技術の向上を図った。	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	畜産振興施設整備事業	353,815 千円	276,547 千円	90,295 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	推進事業	補助金	畜産経営の規模拡大、収益性の向上のため1経営体が計画した施設整備(牛搾乳施設1棟ほか)を支援した。	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	肉用子牛生産安定特別対策事業	1,914 千円	2,106 千円	2,367 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する補給金の財源である積立金の造成を補助した。また、当該事業の推進に係る助言・指導等を行った。	

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	食肉流通合理化推進事業 (食肉流通合理化計画策定事業)	321 千円	156 千円	70 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	施設運営主体による整備計画作成の支援	直接	昨年までの検討結果を基に「長野県食肉流通合理化計画」を6月に策定。計画に基づき、長野県食肉施設検討会を9月に設置するとともに、施設ごとに作業部会を設置。検討会・作業部会を6回開催し、食肉施設のあり方について検討を行った。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
6	信州プレミアム牛肉流通拡大推進事業	241 千円	31 千円	90 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	信州プレミアム牛肉生産者による「定期・定量」出荷の支援	直接	昨年度に続き、東京食肉市場へ生体の県産和牛合計438頭を出荷し、うち259頭が信州プレミアム牛肉に認定された。令和元年度からの事業により、生産者による主体的な出荷が定着し、市場内でも一定の認知がされたことから、本年度で事業を終了する。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
7	乳用牛群検定普及定着化事業	347 千円	406 千円	347 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	牛群検定データの分析及び情報提供	直接	牛群検定を75経営体を実施し、分析結果を毎月情報提供した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
8	酪農生産性向上対策事業	5,334 千円	5,905 千円	3,418 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	牛群ドックの実施	直接	牛群ドックを50経営体959頭について実施し、結果を分析して関係者で生産性向上のための検討会を実施した。
2	バルク乳全戸検査による乳質の向上	直接	バルク乳を用いて細菌検査及び牛ウイルス性下痢症検査を実施し、搾乳衛生の改善と伝染性疾病の防除を図る。

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
9	優良後継牛確保促進事業	3,764 千円	4,287 千円	8,773 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	体外受精卵の生産と供給	直接	OPU(経膈採卵)技術を活用した体外受精卵生産体制を確立するため、畜産試験場に生体内卵子を吸引するための機器を導入し、技術研修会を開催。また技術を活用して、3個の体外受精卵を生産した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
10	家畜改良推進指導事業	1,710 千円	1,502 千円	623 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	種畜検査の実施	直接	牛(黒毛和種)6頭、豚6頭、馬7頭について種畜検査を実施した。(定時:13頭 臨時:6頭)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
11	農場HACCP実践拡大支援事業	3,563 千円	3,254 千円	4,070 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	農場の衛生検査	直接	Supreme5農場、Special1農場、Standard136農場に対して延べ検査検体数3,167の衛生検査を実施し、3,937頭の信州プレミアム牛肉認定の安全・安心を担保した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
12	信州こだわり地鶏生産推進事業 (信州こだわり食肉生産推進事業)	11,519 千円	8,956 千円	9,983 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	長野県オリジナル地鶏の生産体制の整備	直接	長野県畜産試験場で開発した「信州黄金シャモ」について、9農場に15,423羽を配布した。また令和3年度より配布を開始した「長交鶏3号」については、4農場1,197羽を配布した。

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
13	信州プレミアム牛肉生産基盤強化対策事業	8,075 千円	7,995 千円	6,323 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	肉用牛の改良増殖	直接	黒毛和種繁殖牛の代謝プロファイルテストを6経営体80頭で実施し、1年1産に向けた課題検討を行った。黒毛和種種牛を対象に推定育種価解析を2回実施。飼養農家等にデータをフィードバックし、遺伝的改良を促進した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
14	スマート畜産普及推進事業	3,853 千円	1,528 千円	723 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	スマート畜産の普及推進	直接	牛群管理システム(酪農経営体及び乳肉複合経営体)及び分娩監視システム(繁殖肉牛経営体及び乳肉複合経営体)について、合計4件でお試し導入を行った。この結果、繁殖成績の向上や、分娩監視時間の大幅な削減等の効果が確認された。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
15	養豚生産力強化支援事業	2,269 千円	944 千円	140 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	高収益型養豚経営の確立	直接	4経営体について疾病発生状況調査等を実施し、生産性向上対策を指導した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
16	中型家畜生産・利用推進事業	100 千円	100 千円	100 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	めん羊等中型家畜の生産・利用推進	直接	肥育素畜等として利用するためのめん羊を12頭出産させた。また、素畜が欲しい生産者に対し、その都度マッチングを実施した。